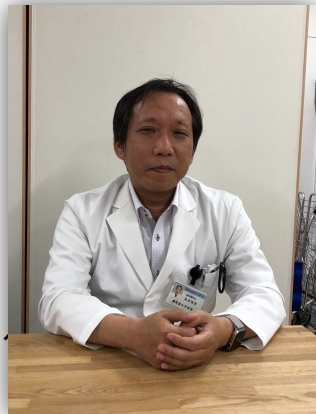


働く女性医療職応援インタビュー

各診療科や部門での女性医療職支援の取組についてインタビューのコーナーです。

第1回目は夏越病院長の主宰されている消化器外科(Ⅰ)、お話し下さったのは医局長の迫田雅彦先生です。



迫田雅彦医局長

第1回 消化器外科(Ⅰ)

インタビュー年月日 H30年5月22日

・診療科の現状について

増田:今日は宜しくお願いします。

早速ですがまず現在の医局員数と女性医師数を教えていただけますか？

迫田先生(以下敬称略):学外を合わせると約160名、人事異動に入っているのは20~130名です。女性医師はその内、11名です。

増田:女性医師の中で育児中や介護中の方はいますか？

迫田:3名が育児中です。介護中の方はいません。

増田:育児中の方はどんな働き方をしていますか？

迫田:皆さん、非常勤勤務から始めて少しずつ勤務日数を増やしています。関連病院勤務の2名は週4日短時間勤務制度を利用して働いています。この春から大学で勤務を開始した先生は院内保育園とくらっこ保育園を利用し、週3日手術や病棟業務に携わっています。当科はグループ(主治医)制をとっていますので、不在の日は同グループの医師が対応しています。

増田:育児や介護、キャリア形成で悩む医師の相談はどうしていますか？

迫田:各グループ内で対応したり、医局長が対応したりしています

増田:若い女性医師のロールモデルとなる方は？

迫田:喜島先生を筆頭として乳腺グループには多いです。消化器グループはまだ育児・介護に関わる方がいませんのでこれからかなと考えています。

・専門医制度について

増田:女性医師が専門医を取得する為のプログラムは作成していますか？

迫田:とくに作成はしていません。試行錯誤といった状況です。現在11名中5名が外科専門医を取得しています。大体入局後4~5年で取得しています。サブスペシャリティについては取得にあたって症例数(手術執刀数)が必要なので意欲が低いと厳しいですね。通常勤務でも入局後8~0年くらいかかります。

増田:専門医の更新はどうですか？

迫田:外科専門医は仕事を続けていればパート勤務でも更新可能です。それに対してサブスペシャリティの維持は中々大変で、全国的にも女性医師で取得/維持している方は少ないですね。当科では喜島先生が乳腺外科専門医を取得・維持しています。

増田: 外科学会はどんな対応をしていますか？

迫田: 産休/育休取得時の専門医更新猶予期間はありますが、その他の取組についてはよくわかりません。

・診療科での取組等について

増田: ところで、鹿児島大学病院では男女にかかわらず、1年以上勤務している場合はお子さんが1歳になるまでの期間に育児休業を取得できるのですかご存じでしたか？

迫田: 女性医師は育児休業を半年から一年取得していますが、男性医師でも取れるんですね。良いですね。小さいお子さんがいる(男性)医師もいるので1日からでも可能なら考えてみようかな。

増田: 近年外科系を志望する女子医学生が増えていますが、女性医師は外科に向いていると思いますか？

迫田: 外科は手術だけでなく外来や病棟管理とか色々な業務があります。女性医師は真面目で患者さんの状態を綿密に見、コミュニケーションも良く取るので特に病棟管理では非常に優れています。外科の患者さんは女性医師の方が良く話を聞いてくれるとってますね。北欧とかは外科医も女性が多いんですよ。それから外科の中でも特に乳腺外科とかは整容性や再建のことを考えると女性の方が良いのかなと。勿論男性でも優れた方はいらっしゃいますが。

増田: なるほど。では貴科では女性医師の入局を歓迎しますか？

迫田: 大歓迎です。というか男女問わず、興味があってやる気があればどんどん外科を目指して欲しいです。適正があれば一番良いですが訓練で得られていくものですので、まずは意欲が大事です。

増田: なるほど。ところで女性医師のキャリアアップ・スキルアップについては何か取り組んでいますか？

迫田: まだ具体的なプランはありません。こちらから指示というより当人たちとの話し合いで勧めていきたいと考えています。今まで女性医師が少なく対応が遅れていましたので、これから元氣長ってきたいと考えています。

増田: 最近、ワークライフバランスが取れた働き方が重要と考える学生も多いようです。これについては如何でしょうか？

迫田: 以前は24時間主治医が対応していましたが今は当直制にして夜間対応は原則当直にお願いしています。勿論興味があれば残ってやってもらっても良いですが、仕事が楽しすぎてあという間に時間が過ぎてしまい、気がつけばということにならないように、ワークライフバランスを取りながらキャリアアップを目指してもらいたいと思います。

増田: 最後に一言、外科を目指す女子学生に一言お願いします。

迫田: 外科では女子学生が将来の展望を持って入局できる体制を作っていきます。興味とやる気のある方を待っています。